

## 日本及びアメリカ合衆国のキャリア教育： 学校を仕事/職業につなぐ

ヤギ・ダリル・タキゾウ  
兵庫教育大学大学院  
学校教育研究科特任教授

### 要約

日本およびアメリカ合衆国のキャリア教育は、歴史的・文化的・教育的な相違の結果から、それぞれ独特の経路を辿ってきた。日本では、教員は様々な役割を担う立場にあり、進路指導の機能も請け負ってきた。これによって初期においては、中等教育後の教育及び労働市場へと生徒を正しく導くことができた。多くの高校は近隣の地域内で産業と継続的な関係を持ち、進路指導担当の教員は生徒に職業を紹介することができた。進路指導担当の教員は生徒が職業を探し、見込みのある雇用主に履歴書を送る手助けをし、生徒に就職試験の準備をさせた。ところが、最近では、進路指導担当の教員は、経済危機による雇用機会の減少、フリーターを志向する生徒、ニート状態に陥る生徒、家族を含む社会の変化などを受けて、これまでになく大きな難題に直面している。

アメリカ合衆国では、キャリア教育は、職業教育に始まるほぼ 100 年に及ぶ長い歴史がある。その間に、職業教育はキャリア教育へと変わり、キャリア教育は生涯にわたる広範囲の発達を取り扱うようになった。さらに最近では科学技術の進歩に伴い、キャリア教育に技術の習得も含めたキャリア技術教育が重視されるようになってきている。その際、学校は教育に携わる専門家を支援する制度を提供するようになったが、そのひとつがスクールカウンセラーである。

スクールカウンセラーの役割および機能は、キャリア教育と関連があるのはもちろん、全生徒のためのキャリアガイダンスとキャリアカウンセリングを行い、キャリア発達を促すことである。スクールカウンセラーはキャリア技術教育プログラムを通じたキャリア教育の推進役であり、生徒とこれらプログラムをつなぐ役目を果たしている。キャリア教育とは、学校、コミュニティ及び産業をつなぐことで、学校ベースの学習と職場ベースの学習を橋渡しする国・州および地方の施策である。学校のキャリア教育に幅広くアプローチすることで、スクールカウンセラーは学校主導のチームの一員として、学校とコミュニティおよび産業の関係づくりを手助けする。

### 【骨子】

1. はじめに
2. キャリア教育
3. 日本におけるキャリア教育：生徒と仕事をつなぐ
4. アメリカ合衆国のキャリア教育：学校と仕事をつなぐ
5. 学校、コミュニティ、産業をつなぐ
6. 結論